

# 第3回まちづくりワークショップを開催しました！！

蕪崎市では20年後のまちづくりを考える都市計画マスタープランの策定を進めるなかで最後となるワークショップでは、「できることはなんだろう？ 未来の蕪崎市を一緒に描いてみよう！」をテーマに開催しました。



## 概要

テーマ：未来の蕪崎市を一緒に描いてみよう！  
 日時：2024年1月18日(木) 18:30～20:30  
 場所：ニコリ(蕪崎市民センター) 3階多目的ホール

## 内容

開会・挨拶→これまでのふりかえり&ワークの説明  
 →まちづくりの取組紹介→グループワーク→発表→閉会



### ■ワーク① 将来像を実現するために必要なことを考えよう！！

各班、自分の地域にある場所について、将来像の実現に向けて必要なことを考えました。さらに、市民、行政、市民と行政の協働で役割ごとに分類しました。

### ■ワーク② 各地域の「こうなるといいな」(目標)を考えよう！！

これまでの話をもとに、各地域において、20年後に「こうなるといいな」という目標を話し合っていました。

### ● 将来像を実現するために必要なこと(抜粋)

班	場所	自分たちができること・やってみよう	行政にやってほしいこと	市民と行政がともにやること
1班	蕪崎駅周辺の商店街	・宿(ホテル)の整備 ・スポーツコミッション ・空き家を解体し、土地の確保 ・雑貨屋、有名ブランド店誘致	・自宅から行きやすい場所をつくる	・空き店舗の活用 ・使いやすい交通手段の整備 ・蕪崎を目的とした観光
2班	蕪崎中央公園	・人目に付く立地でない分、イベント活用等で良さを知らせる	・導線を考えた木影の整備 ・使える所を増やす！許可を出す ・災害時の避難場所としての機能 ・蕪崎市内を見渡せる場所、塔	・電気機関車 ・(写真など)スポットづくり ・昆虫や自然にふれるPR ・周辺施設(商業系)の充実
3班	穂坂丘陵地	・人、機械、技術、販売先の確保 ・果樹栽培の継続 ・果樹(ぶどう)、ワインの生産販売	・小学校を残す ・広い道路 ・送り迎えをしなくても良い公共交通の整備 ・ICなど交通の利便性を生かした産業の発達 ・工業団地 ・スポーツのスタジアム	・スマート農業、楽な農業 ・若い世代が住むこと ・美味しいぶどう、桃、ワインを外の人に味わってもらいたい ・インター周辺に販売所などを整備、にぎわい ・空き家バンクのPR(メリット) ・移住者向けイベントを増やす
4班	武田の里交流拠点	・寺で式典 ・地域活動の継続(祭りなど) ・公民館活動	・ウォーキングコース整備 ・雇用(先)暮らし+人を呼ぶ ・徳島堰頭首工整備(道路) ・甘利山行きのバス(土日) ・イベント ・武田の里交流拠点の周遊+市内商店街への誘導、割引券	・竹灯籠でPR(武田八幡・わに塚) ・耕作地の整備 ・地元コミュニティ、組織 ・補助金 ・若者、子供の意見を聞く ・暮らしやすさ・安心・安全

## 総評

イベントや周知広報など市の魅力をPRする意見が多くありました。防災や道路整備など行政に求める声があったほか、PRに関しては市民自身あるいは市民と行政で行うアイデアが色々出てきました。これまでのご意見を、計画に反映していきます。



NPO法人にららん♪  
 内藤さんにまちづくりの取組をご紹介します  
 いただきました